

# わが社の

# 企業価値

## 北海電気工事



高所作業車によるトランス新設工事

屋内電気設備工事の設計・施工のほか、オール電化工事、特別高圧受電・高圧受電化工事、保守管理、監視システムなど常に高品質の技術を提供している。

「中期経営計画」で五つの重点課題

機械設備工事として、空気調和設備工

北海電気工事は1944年（昭和19年）の創業以来、電力設備工事を事業の核として、顧客ニーズに的確に応えながら社業の発展に努めてきた。

また、北海道電力グループの中核企業として、配電・送電・変電設備の工事・保守を中心とする社会的使命の高い電力サポート事業に軸足を置き、企業基盤の強化を図ってきた。

電力設備工事は、経験豊富な資格取得者を社内多数揃えており、発電・変電・送電・配電工事など、北海道における電力の安定供給を支えている。現在では、配電工事における無停電作業や間接活線工法など、新たな技術にも取り組んでいる。

電力設備保守事業は、送電設備にかかわる樹木伐採、用地測量や用地の維持

管理などを通じて、電力の安定供給という公益事業の一翼を担い、高度で高品質な保守技術を提案・提供している。

近年、事業拡充の一環として取り組みを進めている

## 5つの重点課題掲げ、取り組み推進

## 「社会に貢献できる技術集団」を目指す

のが、情報通信工事だ。より豊かな生活の実現に向けてネットワークインフラの構築と設備拡充が進められていることから、同社が長

年培ってきた情報通信技術の豊富な経験と実績により、地域イントラ、CATV、LAN、移動体通信、地上波デジタル放送関係設備の構築などについて、トータルソリューションを手掛けている。

また、電気設備工事では、

発電設備、地中熱ヒートポンプ設備にも取り組んでいる。

環境関連事業の強化を図る

同社では、安定した経営基盤と優れた技術力という強みを生かし、電力サポート事業に求められる役割を果たしながら、既存事業の拡大・発展と、ESCO事業や太陽光発電設備工事などの環境関連事業の強化を図っていくことを中期の経

営目標としている。また、安全と品質の確保、コンプライアンス、環境保全、社会貢献活動など企業の社会的責任（CSR）を重視した企業活動を展開していく考えだ。

この具現化に向けて、同社では「中期経営計画」（2009～2011年度）を策定し、電力の安定供給を支える施工体制づくり、安全・業務品質面の強化、技術・技能の保持・向上と人材育成など五つの重点課題を掲げて、活動を推進中だ。

同社ではこうした取り組みを通じて、常に「お客様から評価・信頼され、社会に貢献できる技術集団」を目指していく方針だ。

◇

▽本社所在地 札幌市白石区菊水2条1丁目8番21号  
▽代表者 吉川照一 取締役社長  
▽設立 1944年  
▽従業員数 1293人  
(2011年4月1日現在)

▽URL <http://www.okkaidenki.co.jp>